

CTOメッセージ

社会変革につながる 先進技術への挑戦を推進し、 未来に向けた価値創出に取り組みます

新規研究担当役員 (CTO)

徳久 博昭



JSRグループは、「Materials Innovation」を企業理念に掲げ、マテリアルを通じて価値を創造し、人間社会(人・社会・環境)に貢献し続ける存在でありたいと考えています。これまで長年培ってきた「高分子化学」、「有機化学」、「光化学」、「生化学」、「計算化学」、「分析化学」に加え、デジタル化を加速させ、オープンイノベーションを積極的に取り入れて、異分野技術との融合などを通じて、技術領域を拡大しながら社会課題への高度なソリューションを提供するべく、先進技術への挑戦を促進しています。また、分析・評価技術の深掘りをはじめ、原理原則の理解・追究も重視しています。こうした研究開発活動の積み重ねが当社グループ独自の強みとなり、優位性のある技術・素材・サービスをグローバルに展開する原動力になっています。

当社はすでに展開している事業領域における応用開発などの「事業支援開発」と、将来的に大きな成長が見込まれるシーズ研究などの「次世代技術研究」を中心とした研究ならびに開発に注力しています。

その中で、「事業支援開発」においては、グループ内のバリューチェーンとの連携を念頭に置き、開発担当者と顧客の直接対話によるニーズの掘り下げを重視するなど、開発活動と事業の一体化を推進するとともに、各国での技術サービスを充実させ、顧客の事業推進をグローバルかつタイムリーに支援できる体制を構築しています。

そして、「次世代技術研究」では、研究変革をさらに加速させるため、自社研究だけでなく、外部からの知識や技術を取り入れて課題を克服し、画期的なイノベーションを生み出す仕組みを活用しています。国内外の大学や研究機

関との共同研究などのオープンイノベーションを推進し、新たな領域でのビジネスやこれまでとは違う領域での先進研究を事業展開できる可能性を日々探索しています。

さらに、当社グループは、マテリアルズ・インフォマティクスを推進し、データドリブンな研究手法の実用化を進めています。新たなデータ基盤としてデジタル化や理論モデルの構築と、AIや量子コンピューターなどの新手法の実用化を推進し、研究および開発の大幅な効率化につなげていきたいと考えています。

我々は、これまで経験したことのない新たな危機に直面し、また地政学的にもさまざまな変化に晒され、社会は大きく変わろうとしています。その変化に対応するべく、新しい技術への期待も以前にもまして大きく膨らんでいます。当社は、新たな技術への好奇心をもって研究および開発を遂行し、幅広い事業分野で緊密な連携をいただいている顧客、さらには、さまざまな環境で協力をいただいているパートナーへの価値の提供、共創を進めていきます。

研究開発費推移

